

**2017年 核兵器禁止条約実現へ歴史的チャンス  
国連での交渉開始の会議(3月。6~7月)にむけて  
「ヒバクシャ国際署名」行動を県下各地で**

**12月26日長崎ハマクロス前で田上富久長崎市長を先頭に  
被爆団体や平和団体が総がかりで「ヒバクシャ国際署名」行動**

定例の署名行動、26日はハマクロス前で70名近くが参加し、暮れのあわただしく人が行きかう中、一時間弱の行動で402筆が寄せられ、「核兵器禁止条約実現」へむけて2017年への決意を固める行動になりました。署名行動は長崎のうたごえの皆さんのヒバクシャ国際署名の歌から始まり、「署名をすすめる県民の会」共同代表のヒバクシャの谷口稜暉さん、地球市民集会の朝長万左男さんが挨拶、続いて代表賛同人である長崎市長がマイクを握り、道行く人へ2017年核兵器の禁止へ国際政治の大きな変化が見える時、今取り組んでいる「ヒバクシャ国際署名」は大きな意義をもつ、ぜひ多くの方が賛同を寄せてほしいとお願いしました。代表賛同人の長崎平和推進協の横瀬昭幸さん、長崎の呼びかけ人である被爆者手帳友の会の井原東洋一さん、被爆者手帳友愛会の中島正徳さんも署名の賛同を訴えをしました。

県民の会事務局には、県内自治体から署名が届けられています。南島原市-447 五島市-492 壱岐市-20 新上五島町-359 雲仙市-420 等です。先に紹介した時津町から職員と庁舎ロビーでの署名箱投函分の167名分の署名が寄せられました。また西海市からは市長の署名と寄せられた300筆を送ると連絡があるなど自治体の協力が進んでいます。非核自治体協議会の事務局である長崎市の協力です。長崎市は「広報ながさき」1月号のお知らせの中で1月26日「ヒバクシャ国際署名」街頭宣伝を紹介しています。



署名行動を盛りあげるうたごえ協議会のみなさん



県民の会「共同代表、代表賛同人、呼びかけ人の被爆者団体の代表がそろって署名の訴え



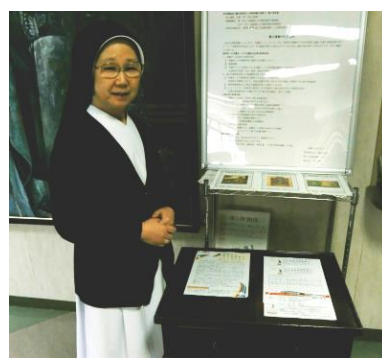
あら、市長さんと呼びかけに答える市民、高校生も市長の姿を見て署名に応じる。

**新年の署名行動(長崎市内)**

- 1月2日  
10時~11時長崎平和公園
- 1月8日  
14時~15時 長崎ハマクロス前  
「祝成人署名行動」
- 1月9日  
10時~11時 長崎平和公園
- 1月26日  
16時~17時ハマクロス前  
署名県民の会定例行動



12月12・13日に開催された「第26回国連軍縮会議IN長崎」の会場ホテルニュー長崎での国際署名のブース



恵の丘長崎原爆ホームでは玄関ロビーに署名コーナー。



南島原市からの署名447筆



**12月15日県原水協は長崎市長を表敬訪問しました。**

原水爆禁止2016年世界大会・平和大行進についてのお礼と報告、随分遅くなりましたが被爆者田中重光さんが参加された日本原水協の企画、「チェルノブイリ30周年バルト諸国訪問」(5/5~12)の報告をしました。核兵器被害の悲惨性を世界で訴える被爆者の特別な役割は「国際署名」の訴えとともに重要であり、それを支えることが被爆者の高齢化もあり大事な活動だ。等市長の発言もあり、共感広がる懇談になりました。県原水協代表理事大矢正人、田中弘法と常任理事で新婦人の大橋由紀子と事務局長の佐藤澄人、そして被爆者の田中重光さんか参加しました。

